貸借対照表

2022年 3月 31日 現在

資産の部合計

株式会社 JALグランドサービス九州 単位: 円 資 部 負 債 \mathcal{O} 部 産 \mathcal{O} 科 目 金 科 額 額 目 金 【流動資産 1 (313,610,186) 【流動負債 1 (127,834,203)現金・預金 7,827,266 営業未払金 7,196,939 営業未収入金 131,423,357 未払費用 22,589,508 前払費用 14,724,085 未払金 330,539 短期貸付金 138,014,953 未払法人税等 232,500 1年内回収長期貸付金 8,133,096 未払事業所税 1,315,900 立替金 13,487,429 未払消費税 22,398,600 3,770,217 預り金 1年内返済長期借入金 70,000,000 【固定資産] (519,357,506) 【固定負債] (725,837,837)(有形固定資産) 退職給付引当金 445,837,837 (2) 工具器具備品 1,224,800 長期借入金 280,000,000 減価償却累計額 △ 1,224,798 (519, 357, 504) (投資その他の資産) 長期貸付金 117,866,904 負債の部合計 853,672,040 長期前払費用 224,100 純資産の部 202,000 【株主資本 1 △ 20,704,348 敷金 前払年金費用 139,865,346 【資本金] (10,000,000)【資本剰余金 繰延税金資産 261,199,154 1 (95,538,982) 資本準備金 1,000,000 その他資本剰余金 94,538,982 【利益剰余金 △ 126,243,330 (その他利益剰余金) \triangle 126,243,330 繰越利益剰余金 \triangle 126,243,330

純資産の部合計

832,967,692 負債・純資産の部合計

△ 20,704,348

832,967,692

個 別 注 記 表

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

株式会社JALグランドサービス九州

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

- 1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- 2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産 (リース資産を除く)
 - ①建物及び付属設備、構築物 定額法を採用しております。
 - ②機械及び装置、車両運搬具、工具器具備品 定率法を採用しております。
 - (2) 無形固定資産 (リース資産を除く) 定額法を採用しております。
 - (3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。 なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引の うち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度 開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっており

- 3. 引当金の計上基準
 - (1) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(15年)にわたり均等償却しております。

数理計算上の差異は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数 (15年)にわたり、それぞれ発生の翌期から均等償却しております。

- 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
 - (1) 収益の計上基準

当社は、株式会社JALグランドサービスからの受託契約に基づく航空輸送に付帯するサービスを提供しており、役務提供完了の時点で収益を認識しております。

(2) 費用の計上基準

費用については、発生主義により認識し計上しております。

【 会計方針の変更に関する注記 】

1. 収益認識に関する会計基準の適用

当事業年度より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準委員会 企業会計基準第29号)を適用しております。この変更による財務諸表に与える影響はありません。

【株主資本等変動計算書に関する注記】

- 1. 当事業年度末における発行済株式の数 普通株式・・・・・・・・・482株
- 2. 配当に関する事項
 - (1) 配当金支払額

該当事項はございません。

(2) 基準日が当該事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌期になるもの該当事項はございません。